



クイックスタートガイド



X-TOUCH

Universal Control Surface with 9 Touch-Sensitive Motor Faders,
LCD Scribble Strips and Ethernet/USB/MIDI Interface

JP

JP

安全にお使いいただくために



注意

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル（¼" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル）を使用してください。



注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。



注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。



注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。



注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ（三芯）プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついて 있습니다。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地（アース）が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本機器は熱帯気候および / または温帯気候下でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、MUSIC Group は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。MIDAS、KLARK TEKNIK、LAB GRUPPEN、LAKE、TANNOY、TURBOSOUND、TC ELECTRONIC、TC HELICON、BEHRINGER、BUGERA および DDA は MUSIC Group IP Ltd. の商標または登録商標です。© MUSIC Group IP Ltd. 2017 無断転用禁止。

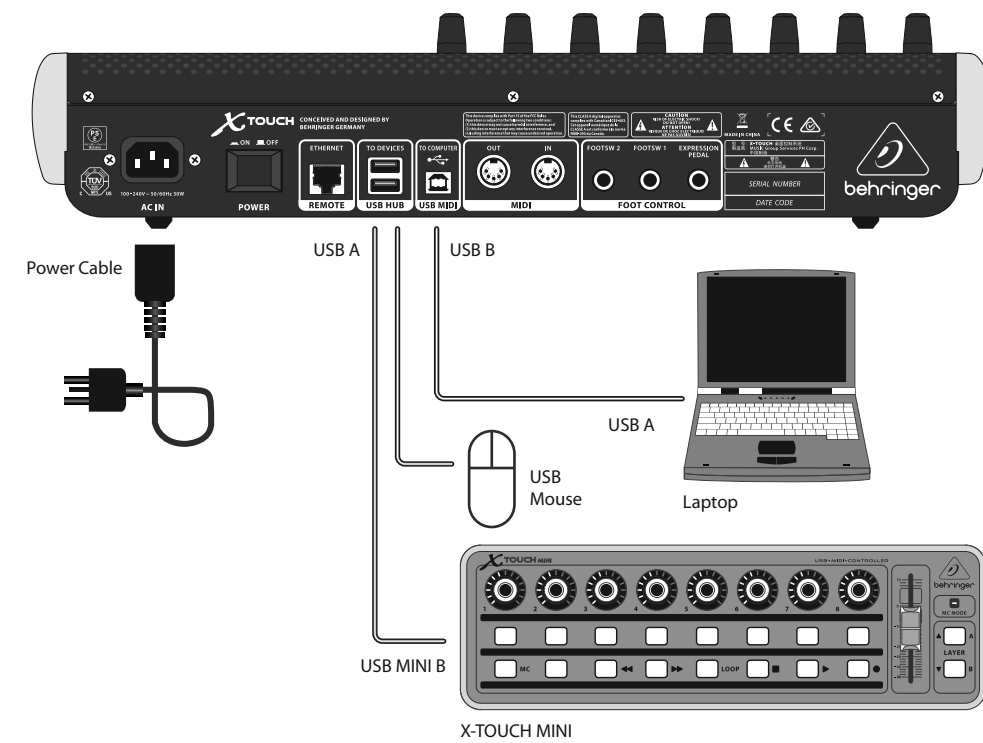
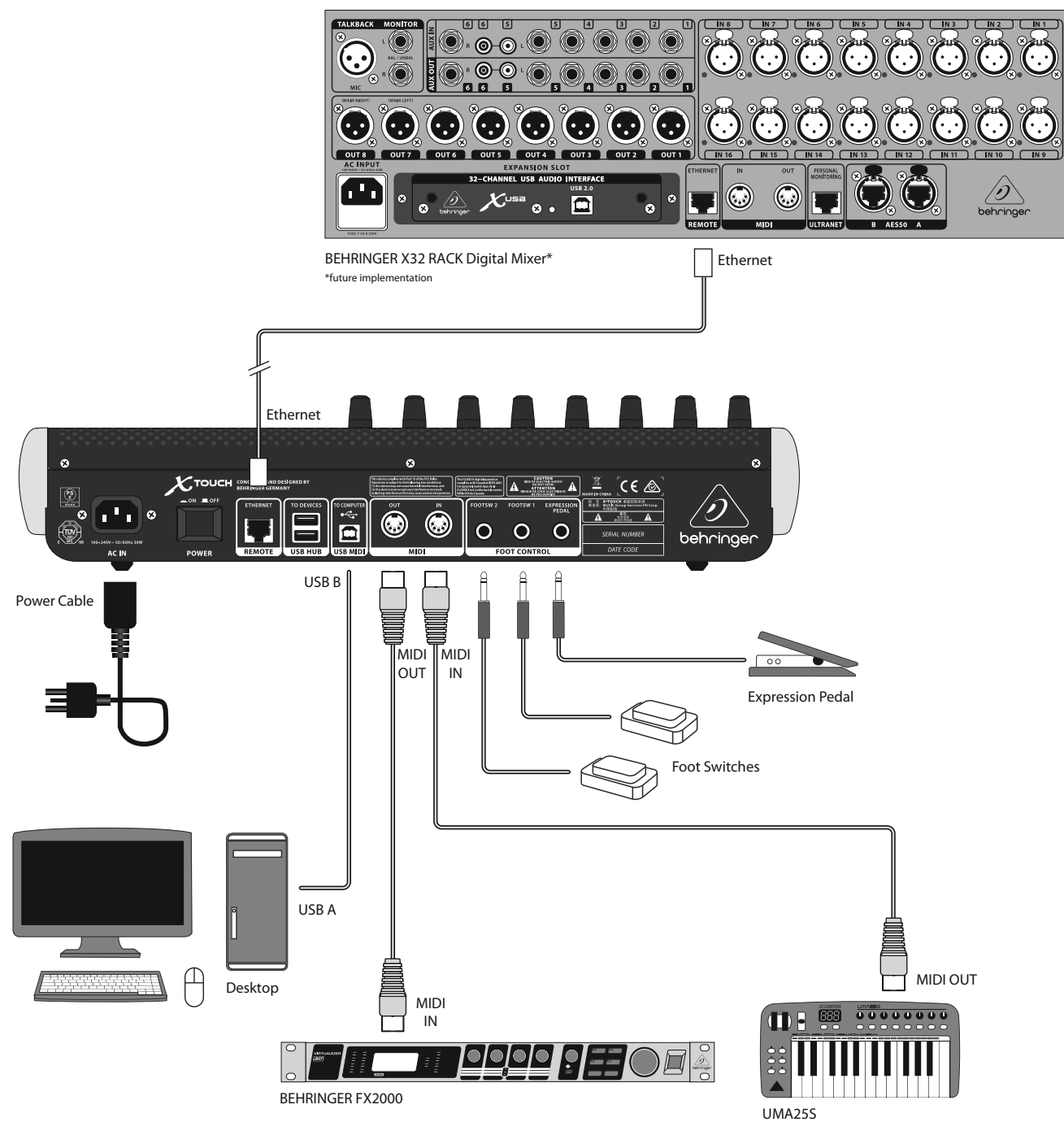
限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

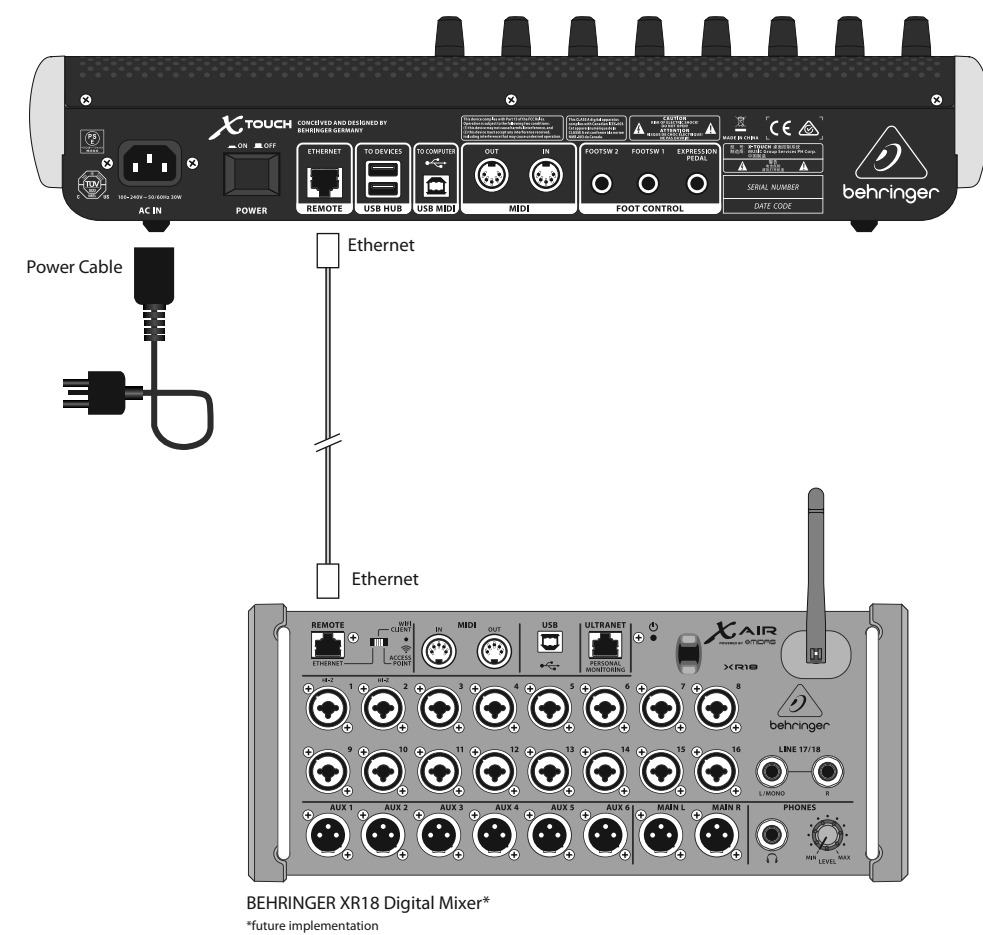
X-TOUCH フックアップ

ステップ 1: フックアップ

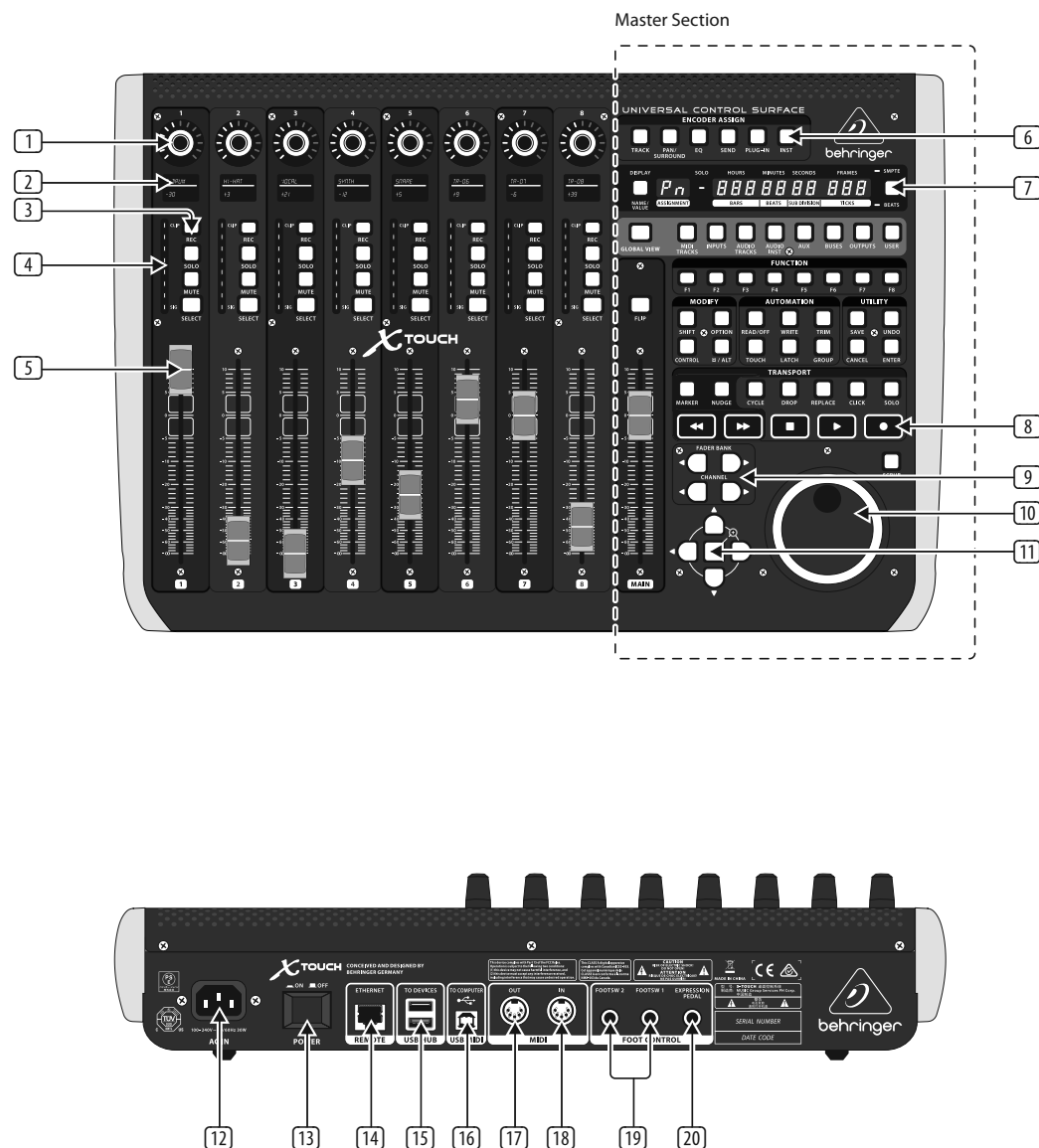
Professional Studio



Live Mixing Control



X-TOUCH コントロール



ステップ 2: コントロール

オペレーション・モード

X-TOUCH は、すべての互換性のある音楽制作ソフトウェア間のシームレスな連携を実現するべく、HUI およびMC コミュニケーション・プロトコルに対応しています。その他のモードには将来的に、ファームウェア・アップデートで対応する予定です。モード変更の手順は、「クイックスタート・ガイド」の章をご参照ください。

① **プッシュ・エンコーダー・ノブ** – デテントおよびプッシュ機能 (点灯なし)、13 段階の環状アンバー色 LED を持つ、8 つのエンドレス・エンコーダーです。一般的にデジタル・オーディオ・ワークステーション (DAW) アプリケーションで、チャンネル 1~8 の、AUX センドおよびパンなどのパラメーターを精細に制御します。マスター部のエンコーダー・アサイン・ボタンで、エンコーダーで制御する項目を選択します。

② **スクリブル・ストリップ** – DAW ソフトウェアで表示されているパラメーターおよびラベルを、この 8 つの LCD ディスプレイに表示します。また、エンコーダーで調節可能なユニットの設定や調整も表示します。

③ **チャンネル・ボタン** – 個々の DAW ミキサー・チャンネル・アプリケーションで使用する各チャンネル 4 つのボタンです:

Rec (録音) – チャンネルを録音態勢にします。

Solo (ソロ) – ミックスからチャンネルを分離します。1 つ以上のチャンネルがソロに設定されている場合、ディスプレイのソロ LED が点灯します。

Mute (ミュート) – チャンネルをミュートします。

Select (セレクト) – チャンネルを編集可能な状態にします。このボタンを押すと、ミキサーのコントロール類によって、選択したチャンネルの設定ができるようになります。詳細が各スクリブル・ストリップに表示されます。

④ **チャンネル・メーター** – 各チャンネルの信号のレベル、信号の存在、およびクリッピングを表示する、8 つの LED メーターです。

⑤ **フェーダー** – 通常、DAW のレベル機能の精細な制御に使用される、タッチ・センシティブ、100 mm モーター・フェーダーです。チャンネル・フェーダー 8 つと、右側にマスター・フェーダー 1 つを装備しています。マスター・フェーダーの上のフリップ (FLIP) ボタンは、エンコーダー・コントロールとフェーダー・コントロールを切り替えます。より精確な制御が必要なパラメーターを選択します。

マスター部

DAW の種類により、各ボタンの厳密な機能は大きく変わります。お使いの DAW の取扱説明書の、外部コントロール・サーフィスに関する項をよくお読みいただくことを推奨いたします。数あるボタンの中で、キーボード・ショートカット、ユーティリティ、およびオートメーションをおこなうものがあります。本機マスター部の一般的な機能について、次に詳しく解説いたします:

⑥ **エンコーダー割り当て** – エンコーダーの機能を選択するための、6 つのボタンです。DAW により厳密な機能は変わりますが、トラック・レベル、パン、EQ、AUX センド、エフェクト・プラグイン、インサートなどが含まれます。

⑦ **ディスプレイ** – 時間、分、秒およびフレームを表示する SMPTE タイムコードと、小節、拍、ティックを表示する BBT とを切り替えます。いずれを選択するかによって、LED の「SMPTE」または「Beats」の文字が点灯します。

⑧ **トランスポート・ボタン** – 下部にある、なじみ深い記号の描かれた 5 つのボタンです (巻き戻し、早送り、停止、再生、録音)。DAW トランスポート・アプリケーションで使用されます。

⑨ **Fader Bank (フェーダー・バンク) および Channel (チャンネル)** – 左または右バンク・ボタンを使ってチャンネル移動ができ、一度に 8 チャンネルずつアップ / ダウンします。チャンネル・ボタンでチャンネル移動をする場合は、一度に 1 チャンネルずつ、アップ / ダウンします。

⑩ **ジョグ / シャッフル** – DAW でオーディオ編集に使用するホイールです。SCRUB (スクラブ) ボタンを押すと、ホイールをジョグ / シャッフルの間で切り替えます。

⑪ **ナビゲーション・ボタン** – アップ / ダウン、左 / 右の操作、および DAW 画面のズームをおこないます。

リアパネル

⑫ **AC IN (電源差込口)** – AC 電源コードをここにしっかりと接続してください。コードのもう一端を AC 主電源に接続します。安全接地用の脚を折らないでください。

⑬ **Power (電源スイッチ)** – 押し込むとユニットの電源がオンに、もう一度押してボタンが外に出た状態ではオフになります。すべての接続を完了するまで、電源をオンにしないでください。

⑭ **REMOTE (リモート)** – このポートは Ethernet インターフェイスで、RTP MIDI 対応 DAW への接続、または BEHRINGER デジタル・ミキサー・シリーズの遠隔操作 (将来対応予定) に使用します。

⑮ **USB HUB (USB ハブ)** – 2 つの USB A タイプ・コネクタで、USB マウス、キーボード、X-TOUCH MINI のような USB MIDI コントローラー、USB MIDI キーボードなどの、USB ハードウェアを接続します。ハブは、X-TOUCH ではなく、コンピュータと直接通信をおこないます。各コネクタは、5V USB 電源を供給可能です。ハブは、X-TOUCH の電源がオンで、USB MIDI コネクタ経由で動作中のコンピュータに接続している時のみ、有効になります。

⑯ **USB MIDI** – この USB B タイプ・コネクタと、コンピュータの USB ポートを接続し、MIDI データの転送 (送信 / 受信)、および USB ハブ通信をおこないます。

⑰ **MIDI OUT (MIDI 出力)** – 外部 MIDI 機器の MIDI 入力端子に、MIDI データを送信する 5 ピン DIN コネクタです。

⑱ **MIDI IN (MIDI 入力)** – 外部 MIDI 機器の MIDI 出力端子から、MIDI データを受信する 5 ピン DIN コネクタです。

⑲ **Foot Control (フット・コントロール) フットスイッチ 1 および 2** – この 1/4 インチ・コネクタに標準的なサステイン・ペダルを接続し、瞬間的な MIDI データ制御、または切り替えをおこないます。

⑳ **Foot Control Expression Pedal (フットコントロール・エクスプレッション・ペダル)** – この 1/4 インチ・コネクタに標準的なスウェル・ペダルを接続し、継続的な MIDI データ制御をおこないます。

X-TOUCH はじめに

ステップ 3: はじめに

概観

本クイックスタート・ガイドでは、X-TOUCH のセットアップの解説および、簡単な機能紹介をいたします。X-TOUCH をお使いいただくと、高品位コントローラーの精確なタッチおよびフィールで DAW ソフトウェアの制御ができます。92 個の便利なライトつきボタン、8 つの回転式プッシュ・エンコーダー、そして 9 つのタッチ・センシティブ 100 mm モーター・フェーダーを備え、様々な DAW を、HUI または MC で操作します。将来的に BEHRINGER デジタル・ミキサー・シリーズのコントロール機能も実装される予定です。

ソフトウェア・セットアップ

X-TOUCH は、USB クラス・コンプライアント MIDI 機器ですので、ドライバーのインストールは不要です。

コンフィギュレーション・メニュー

チャンネル 1 のセレクト (SELECT) ボタンを長押ししながら、ユニットの電源をオンにし、X-TOUCH のコンフィギュレーション・メニューを立ち上げます。

エンコーダー 1 をまわし、エミュレーション・モードを、HUI、MC、またはその他 (将来的に装備予定) の間で切り替えます。

エンコーダー 2 をまわし、USB、MIDI、またはネットワーク (Network) の中からインターフェイスを選択します。ネットワークの詳細設定は、必要に応じてエンコーダー 3~7 でおこないます。

エンコーダー 8 をまわし、ディスプレイのコントラストを 0-100 % の間で調節します。

チャンネル 1 のセレクト (SELECT) ボタンを再度押して、設定を保存し、選択したエミュレーションを開始します。

ハードウェア・セットアップ

セットアップは、選択した X-TOUCH インターフェイス (USB、MIDI またはネットワーク) によって異なります。

USB: X-TOUCH を直接、コンピューターの使用可能な USB ポートに、付属の USB ケーブルで接続します。

MIDI: X-TOUCH の MIDI 入力 (MIDI IN) および出力 (MIDI OUT) ポートと、コンピューターの外部 MIDI インターフェイスの、出力、入力ポートをそれぞれ接続します。

Network (ネットワーク): IP、マスクおよび、その他の設定を完了してから、お使いのネットワークのリモート・イーサネット・ポートに接続します。

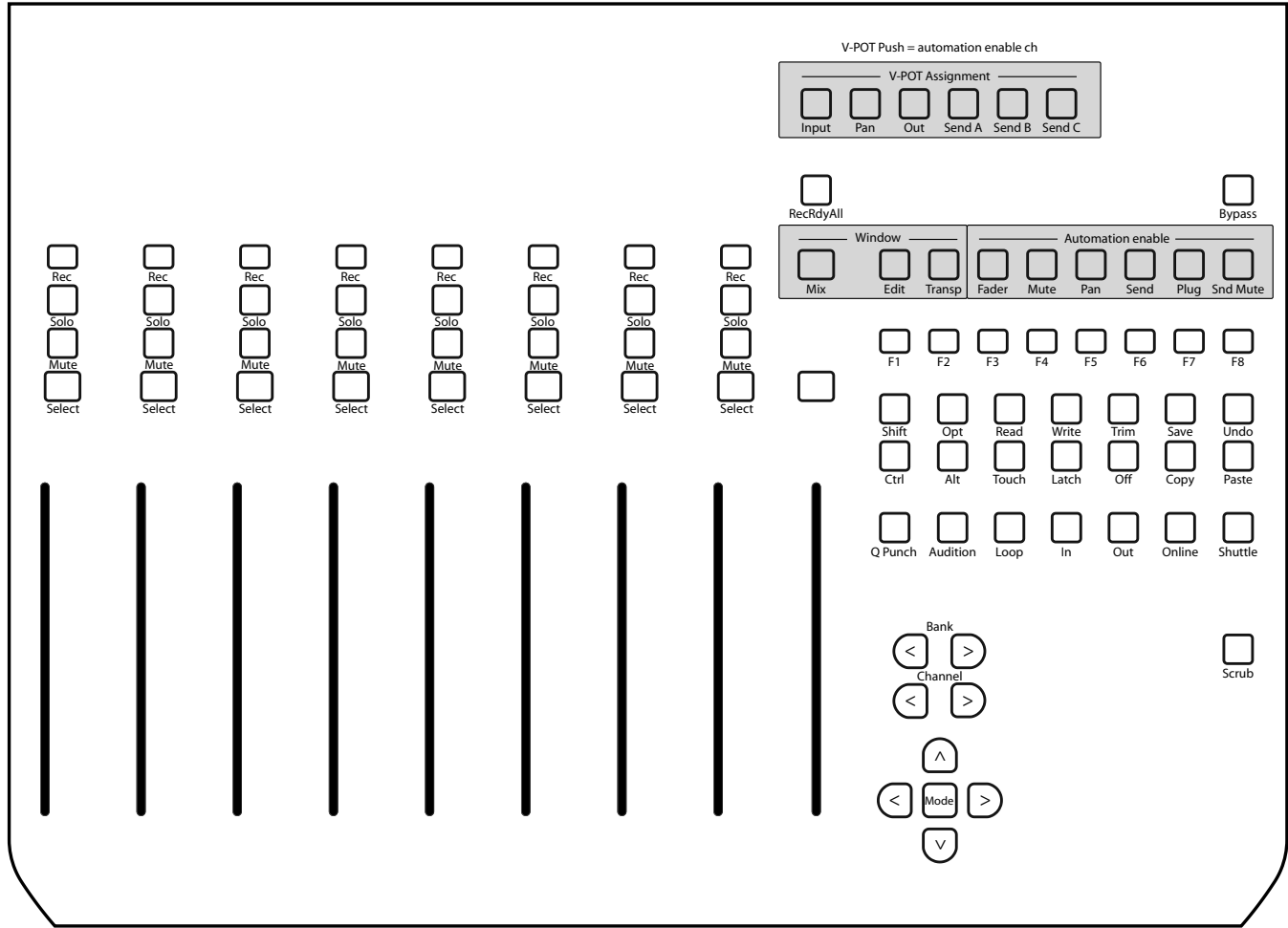
システムのその他の接続をすべておこないます。

AC 電源に X-TOUCH を接続し、電源スイッチをオンにします。

ネットワーク・インターフェイスをお使いの場合は、ネットワーク上で X-TOUCH をお探しください。

お使いの DAW ソフトウェアで、X-TOUCH を MIDI コントローラーとして選択したら、準備は完了です。心ゆくまでお楽しみください。

X-TOUCH HUI EMULATION MAP



JP

Using the X-TOUCH with RTP MIDI

The X-TOUCH can be used as an RTP MIDI device over a Network connection. This is useful in systems where long USB cables or MIDI cables would otherwise be required.

The following instructions show the general preparation of the X-TOUCH for RTP MIDI operation, and then further details for use with an OS X* network, and a Windows* network.

Preparing the X-TOUCH for RTP MIDI operation

- On the X-TOUCH, press and hold the SELECT button of CH1 during power up, to enter the Settings menu. Observe the text in the scribble-strip displays.
- Turn the 2nd encoder to select NETWORK.
- The 3rd encoder allows you to select either MODE or DHCP:
 - MODE selects between using the X-TOUCH as an RTP SLAVE or an RTP MASTER. In SLAVE mode, you need to enter the IP address of the X-TOUCH into your computer's RTP MIDI settings. In MASTER mode you can enter the IP address of the computer by turning the 3rd encoder one tick to the right, and use encoders 4-7 to enter the sets of 3-digits that make up the address. You may use Port 5004 in both cases, as this is the standard port for RTP MIDI.
 - DHCP can be set to ON or OFF. When DHCP is set to ON, the X-TOUCH will get its IP address automatically within the connected network from the DHCP server. When DHCP is set to OFF, the IP, Subnet mask, and Gateway have to be entered manually by turning the 3rd encoder to the right and accessing the following pages: my IP, my Mask, and my Gway. You can enter the IP addresses using encoders 4-7.
- Exit the X-TOUCH setup by pressing the SELECT button of CH1 again. You will see the following in the display: **IP: 000.000.000.000 Wait...**
- The IP will first switch to an internal IP before it shows the actual IP (for example IP: 010.100.001.029) within the network when DHCP is used. When the X-TOUCH is connected to the computer via the network, the **Wait** message will disappear.

Using X-TOUCH as an RTP MIDI device within OS X

For OS X systems, no external driver is required for RTP MIDI operation.

Slave

- Make sure your computer and the X-TOUCH are within the same network.
- Open AUDIO/MIDI-Settings on the computer.
- Open MIDI Studio / MIDI Devices window.
- Double-click on "Network."
- Click on "+" underneath the DIRECTORY field to add a device. Insert Name, the IP of your X-TOUCH and the port (5004).
- Create a Session by pressing "+" underneath the "My Sessions" field and activate the session created.
- Activate the X-TOUCH and click "Connect."
- The X-TOUCH is now available as an RTP MIDI controller. Open the preferences of your DAW and add it as control surface. Within most DAWs, it will be detected automatically.

Master

- Make sure your computer and the X-TOUCH are within the same network.
- Open AUDIO/MIDI-Settings on the computer.
- Open MIDI Studio / MIDI Devices window.
- Double-click on "Network."
- Create a Session by pressing "+" underneath the "My Sessions" field and activate the session created.
- For "Who may connect to me:" choose "Anyone." X-TOUCH should appear as a participant of the session.
- The X-TOUCH is now available as an RTP MIDI controller. Open the preferences of your DAW and add it as control surface. Within most DAWs, it will be detected automatically.

Using X-TOUCH as an RTP MIDI device with Windows

Windows systems require the use of a third-party external driver for RTP MIDI. For example, do an internet search for "rtpMIDI" then download and install it on your computer.

Slave

- Make sure your computer and the X-TOUCH are within the same network.
- Open the rtpMIDI driver.
- Click on "+" underneath the DIRECTORY field to add a device. Insert Name, the IP including port address (e.g. 10.100.1.29:5004) of your X-TOUCH.
- Create a Session by pressing "+" underneath the "My Sessions" field and activate the session created.
- Activate the X-TOUCH and click "Connect."
- The X-TOUCH is now available as an RTP MIDI controller. Open the preferences of your DAW and add it as control surface.

Master

- Make sure your computer and the X-TOUCH are within the same network.
- Open the rtpMIDI driver.
- Create a Session by pressing "+" underneath the "My Sessions" field and activate the session created.
- For "Who may connect to me:" choose "Anyone." X-TOUCH should appear as a participant of the session.
- The X-TOUCH is now available as an RTP MIDI controller. Open the preferences of your DAW and add it as control surface.

技術仕様

Controls	
Rotary/Push controls with LED collar	8
Buttons with LED backlight	92
Faders	9 motorized faders, 100 mm, touch-sensitive
Wheel	1 jog/shuttle
Foot control (expression)	¼" TS
Foot switch (sustain)	¼" TS x 2
Display	
Time	7-segment LED x 10
Channel assignment	7-segment LED x 2
Channel level	8-segment LED with SIG and CLIP
Channel display	Color LCD scribble strip x 8
MIDI	
Input	5-pin DIN
Output	5-pin DIN
Computer Connection	
USB	USB 2.0, type B
Ethernet	RJ45
USB Hub	
Type	Multi-TT USB 2.0
Connectors (x2)	USB 2.0, type A
Voltage (USB power to external devices)	5 V
Power Supply	
Type	Internal switch mode power supply
Voltage	100-240 VAC, 50/60 Hz
Fuse	T 1A H 250 V
Power consumption	30 W
Mains connection	Standard IEC receptacle
Physical	
Standard operating temperature range	5 °C to 40°C (41°F to 104°F)
Dimensions (H x W x D)	100 x 452 x 301 mm (3.9 x 17.8 x 11.9")
Weight	4.3 kg (9.4 lbs)

*OS X is a trademark of Apple Inc.

*Windows is either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

その他の重要な情報

JP

JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** MUSIC Group ディーラーがお客様のお近くになくときは、behringer.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

Dedicate Your Life to MUSIC